



「七年目を迎えて」

東北農政局 和賀中央農業水利事業所
豊沢川農業水利事業建設所長 齋藤 高志

久保田理事長はじめ、豊沢川土地改良区の組合員の皆様には、平素より国営豊沢川農業水利事業の推進にご理解とご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。令和3年度も引き続きよろしく申し上げます。

コロナ禍が続く中、今年の冬は昨年比に比べ雪が多く厳しい気象条件の中で工事を進めて参りました。12月には網場設備を更新、2月には新しい管理事務所が完成しました。取水施設、放流施設も機械設備の据付が終わり、本格的な取水に備え電気工事や試運転調整を行っているところです。また、小水力発電施設も今年度から水車の製作に取りかかるよう工事発注の準備を進めるとともに、下部工の工事に取りかかり、令和4年度に発電所上屋建築工事を行い、3年後に水車、発電機の据付とともに電力と系統連係できるよう進めて参ります。

令和3年度は、小水力発電の機器や洪水吐施設の製作をはじめ、下流階段工や放流警報施設の一部補修などの工事を行う予定です。

事業も7年目を迎え、電力線の容量不足に伴う募集プロセス参加のため滞っていた小水力発電施設の工事もようやく動き始めました。これからも安全に留意し、事業効果の早期発現を目指して工事を進めて参りますので皆様のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

令和2年度工事实施状況



全面結氷したダム湖面 (1月)



取水施設非常用ゲート更新 (1月)



放流ゲート据付状況 (10月)



完成した新管理事務所 (2月)

現下の日本の農業をめぐる諸情勢は、かつてないほど厳しいものがあり、高齢化や人口減少に伴う担い手不足に加えて大規模な地震や地球温暖化の影響と考えられる豪雨災害が全国各地で発生し、大きな被害をもたらしております。当管内におきましても担い手対策や防災・減災対策が喫緊の課題となっております。先人から受け継がれた

組合員の皆様には平素より当土地改良区の業務運営全般に亘り格別なるご理解とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。また、行政機関をはじめ関係農業団体各位には、各般に亘る土地改良事業の推進にご懇切なるご指導、ご配慮を賜り、衷心より感謝申し上げます。



理事長
久保田 泰輝

ごあいさつ

農地や農業施設、洪水防水機能や水源涵養機能など地域の生活環境を支える役割を有する農村、この大切な財産を次の世代へと確実に引き継いでいかなければなりません。

当地域は、県内の他地域に先駆けて、担い手等の育成と生産コストの低減、転作作物の導入等を目的の中心に据えてほ場の大区画化や暗渠排水に取り組んできましたが、整備から既に数十年を経過する地区が多く、基幹的な水利施設やパイプライン関連施設等の経年劣化が進み、これら施設の更新・改修に向けた対策が重要となっております。併せて大型農業機械の効率的な稼働や水管理の労力軽減等を視野に入れた更なる大区画ほ場整備の導入も求められております。

申し上げるまでもなく農業は命の源である食料の生産とともに豊かな自然の創造、国土の保全など国の根幹を支える極めて重要な産業ですが、この農業を安定的に、さらに成長させるためには環境整備が不可欠であり、生産基盤である農地及び農業水利施設の整備、そしてその適切な維持管理は土地改良区に課せられた基本的な使命であります。令和3年度におきましては、これを



着実に果たすために、組合員はもとより、行政機関、関係農業団体と緊密に連携を図りながら、事業の推進に役員一同、一層の努力を傾注して参る所存でありますので、よろしくご協力下さるようお願い申し上げます。

末筆になりましたが、昨年発生した新型コロナウイルスによる感染拡大は、私たちの日常生活を大きく変容させ、農業のみならず社会経済への影響が計り知れず、未だ収束の見通しが立たない状況となっております。組合員の皆様におかれましては、くれぐれもご自愛ください。また、本年が安穏で、自然災害もなく出来秋が迎えられますことをご祈念申し上げます。ご挨拶といたします。